

「ウッドデザイン賞 2017」受賞の報告

日本工学院専門学校
特定非営利活動法人山の自然学クラブ
相川運動公園団地仮設自治会

十三浜プロジェクトから展開を広げて取り組んでいる「カマタマルシェ」【KAMATA Marche】は「ウッドデザイン賞 2017」に、日本工学院専門学校建築学科/建築設計科が主体となって分野：コミュニケーション分野、サブカテゴリ：教育・研修システムとして応募し、「ライフスタイルデザイン部門」において受賞しました。

ウッドデザイン賞は、林野庁の補助事業として3年前から実施されている表彰制度で、「木」に関するあらゆるモノ、コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの消費者視点から、優れた製品、取り組み等を表彰するものです。2017年は総応募数453点から、250点が受賞対象となりました。

ウッドデザイン賞2017 入賞作品一覧 2017.10.25				
コミュニケーション分野				
ライフスタイルデザイン部門				
受賞作品名	受賞団体名(主たる応募者、共同応募者)	サブカテゴリ	受賞作品の概要	写真
カマタマルシェ	日本工学院専門学校(東京)、(特非)山の自然学クラブ(東京)、仮設相川運動公園団地仮設自治会(宮城)	教育・研修システム	木材で地域イベントや被災地支援に必要な家具や展示用什器を制作するプロジェクト。被災地の高台移転地造成時に伐採される樹木から始まり→製材→木材加工→調整→イベント展示→要望聞き取り→家具の改良→引き渡しという流れをすべて体験することで木材の特徴や問題点を理解する。同時に地域貢献と被災地支援を行う。	

「ウッドデザイン賞 2017」概要 <https://www.wooddesign.jp/>

■賞の構成

①最優秀賞1点、②優秀賞数点×3部門、③奨励賞数点×3部門、④ウッドデザイン賞(入賞) 二次審査を通過したものすべて

■表彰部門

(1) ライフスタイルデザイン部門～木を使って暮らしの質を高めているもの～

木を使うことで機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

(2) ハートフルデザイン部門～木を使って人の心と身体を健やかにしているもの～

木を使うことで快適性を高めたり、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリー性を伝えている、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

(3) ソーシャルデザイン部門～木を使って地域や社会を活性化しているもの～

木を使うことで森林や地域の活性化に貢献している、人材を発掘・育成している、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

■応募分野・サブカテゴリ

①建築・空間・建材・部材分野・・・店舗、商業施設、オフィス、住宅、構造材、床・壁・内外装材など

②木製品分野・・・家具、雑貨・日用品、キッチン・食器、寝具、遊具など

③コミュニケーション分野・・・ワークショップ、プロモーション、人材育成、ビジネスモデルなど

④技術・研究分野・・・技術、調査研究、実験住宅、試作品など

■スケジュール

応募期間: 2017年6月20日(火)～7月28日(金) ウッドデザイン賞(入賞)結果通知・発表10月25日(水)

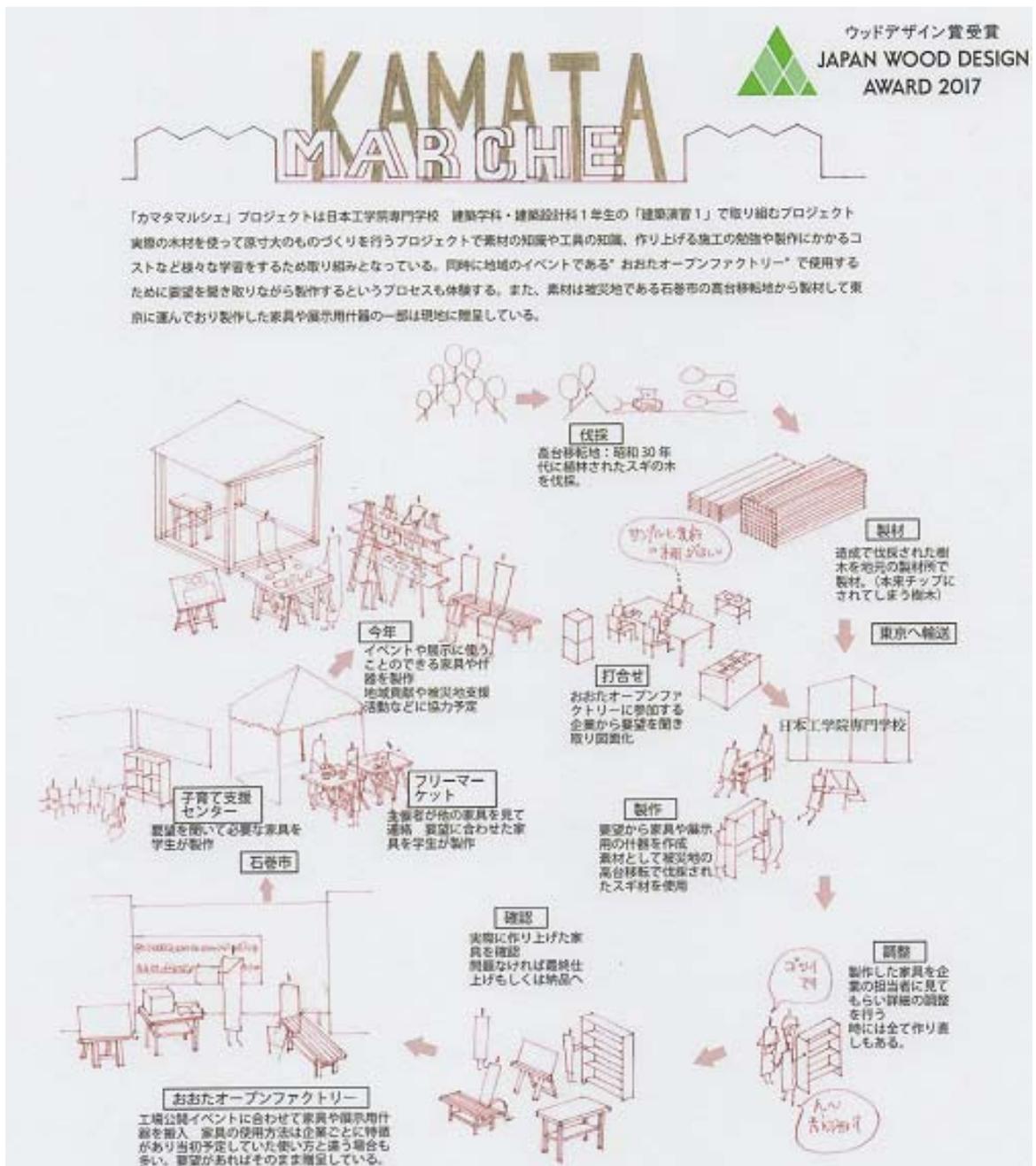
表彰式(「エコプロ2017」)12月7日(木) 展示・セミナー(「エコプロ2017」)12月7日(木)～9日(土)

「ウッドデザイン賞 2017」受賞作品展示

■日時: 平成29年12月7～9日(木～土) 10:00～17:00

■場所: 「東京ビックサイト」東1ホール「森林からはじまるエコライフ展」内「ウッドデザイン賞 2017」ブース

■内容: 実施概要紹介、上位賞展示、受賞作品全店展示、ライフスタイル展示、セミナースペース等



受賞作品は、毎年ビッグサイトで行われている「エコプロ 2017」で一部が展示されました。このプロジェクトからは展示用に使用していただいている家具をサンプルとして出展し、ここでも資料などを置いて、活用して頂きました。

